

日本省力機械株式会社

運転状態を可視化する「スマートコンベヤ」を開発

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



60余年の実績と技術で
社会の求めに応じる

取扱製品の数々

主な事業内容

運搬機械の設計・製造・販売、
タペストリーの企画・製造・販売

主な取引先(納入先)

大手プラントメーカー

主な製品

運搬機械(コンベヤ)、
自動織機、タペストリーなど

業務内容
コンベヤとタペストリーの
2事業ともに高い評価

日本省力機械は、創業時から続くコンベヤ事業に加え、自社製作による自動織機を活用したじゅうたん(タペストリー)事業を展開する。主力となるコンベヤ事業は、自社での開発・設計と協力会社との製造・品質管理連携により、これまでで2,500台以上を出荷。全国350以上の環境プラントで利用されている。

創業は昭和34年。直後の高度成長期に、自動車や製鉄をはじめ様々な産業に向け、コンベヤを中心とした運搬設備を提供し、技術力を磨いた。昭和60年には、基布に柄を描きパイル糸を差し込んでいく作業を完全自動化した「自動フックドラグ織機」を開発し、じゅうたん業界から高評価を得た。この実績をもとに立ち上げたタペストリー事業では、社内一貫生産体制のもと、特殊自動織機と手作業の技術を融合した高品質な製品を提供。皇室への献上や世界的ブランドのFENDIへの納入実績がある。

強み 融合 機械技術と制御技術を

コンベヤ生産で培った機械技術と自動

織機生産で得た制御技術の融合で生まれたのが、「スマートコンベヤ」である。コンベヤの左右のチェーン張力をリアルタイムでモニタリングし、不具合を即座に把握できるのが特長。運転状態の可視化によりメンテナンスの効率化が図れる。こうして、運転状態のモニタリング、省エネ・自動運転のサポートを可能とした「新世代コンベヤシステム」を実現した。また、異物によるコンベヤチェーンの詰まりを防ぐハンマリング装置の採用により、保守作業の負担軽減とチェーンやレールの長寿命化を実現し、顧客から高い評価を得ている。

展望 将来 SDGsに貢献するソリューション提供へ

機械学習をはじめAIを活用したプラントの自動運転や予知保全、IoTによるデータ収集の効率化のニーズが高まっている中、スマートコンベヤも、将来は蓄積されたデータを機械学習することにより故障予測やダウンタイムを回避できることが期待される。スマートコンベヤを通じて、「SDGsに貢献する高付加価値ソリューションを提供したい」と意気込む同社は、時代のニーズに即しつづつ持続可能な製品開発にまい進する。

社長あいさつ



代表取締役社長
辰村 周平さん

創業以来、「新しいアイデアと良心的な技術」をモットーにもものづくりに励んできました。現在も搬送機械技術に最新テクノロジーを融合することで、省エネ・省力・省資源を実現するシステム開発に挑戦し続けています。SDGsに貢献する製品を提供し、社会的課題の解決に努めていきます。

主な保有設備

- 開発用コンベヤ実験機 自社製 3台
- チェーンハンマリング実験機 自社製 2台
- シャーリング装置 自社製 1台
- タペストリー自動織機 自社製 2台
- タペストリー用デザインソフト 自社製 2台

大阪 06

住所 / 〒567-0032
茨木市西駅前町
5-24
TEL / 072-620-0252
FAX / 072-620-0258
創業 / 昭和34年3月
設立 / 昭和34年3月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 11名



自社製品の「スマートコンベヤ」



エプロンコンベヤでガレキ処理



<https://snsc.co.jp/>